

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 571 号	氏名	田口 恒徳
学位審査委員	主 査	小路 武彦	
	副 査	江口 晋	
	副 査	酒井 英樹	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、臨床肺移植に伴う急性拒絶反応の機構の解明を目的として、ラット MHC 不適合肺同種移植モデルを作成し、その肺細胞懸濁液を用いて移植片への白血球浸潤動態及びそれらのサイトカイン mRNA 発現等を定量的に解析するもので、研究目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 BN ラットをドナーとして、また Lewis ラットをレシピエントとして肺移植を行い、時間経過を追って気管支肺胞洗浄液並びに組織片をコラゲナーゼ処理して得られた細胞懸濁液を用いてフローサイトメトリーにて浸潤細胞の定量的解析を行った。また、CTLA4-Ig 投与及びドナー特異的輸血(DST)による拒絶反応の遅延効果を検討すると共に、浸潤リンパ球での種々のサイトカイン mRNA 発現を real-time PCR で解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 以上の検討の結果、移植片への白血球浸潤には時間経過に依存した細胞種特異性があることを示すと共に、CTLA4-Ig 投与と DST を併用することにより有意な拒絶反応の遅延を見出し、急性拒絶反応の機構解明への有効なモデルを提供した点、これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は肺移植に伴う急性拒絶反応の機構解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			